



貝輪の来た道

地下式横穴墓の副葬品に、貝で作ったブレスレットがあるのをご存じですか？歴史展示室には国富町大坪地下式横穴墓から出土したゴホウラという貝殻から作られた貝輪が展示してあります。ゴホウラは南の海にしか生息しない貝類で、宮崎県が古墳時代に南の島との交易ルートの一部にあったことを証明する貴重な資料です。

当時、南の島の貝類は、九州を通じて遠く関西方面にまで運ばれました。手に入れることが難しく、磨くことで乳白色に美しく輝くことから珍重されたと考えられます。古墳時代には、その土地の有力者などの権威や権力を示す財物として扱われるようになりました。

歴史展示室の古墳時代のコーナーとともに、貝で作られたブレスレットもご覧下さい！



貝で作ったブレスレット(左) 現在のゴホウラ(右)

ゴイシツバメシジミ



シシラン

ゴイシツバメシジミという蝶がいます。貝のような名前ですが、シジミチョウ科の蝶で前の翅の長さが10mm前後と小さく、翅の裏側に黒い碁石のような模様があることからこの名が付けられています。

この蝶は、日本では宮崎県小林市、熊本県、奈良県のごく限られた照葉樹林の、空中湿度のかなり高いV字谷に生息し、国の天然記念物に指定されています。幼虫はシシラン(イワタバコ科)の花やつぼみを唯一、食草としています。

シシランはカシの木などに着生する植物ですが、園芸用としての採取や照葉樹の伐採により減少し、ゴイシツバメシジミの生態にも影響しています。1994年を最後に生息の確実な報告がなく、シシランと共にレッドデータブック宮崎県版では絶滅危惧IA類に分類されています。

1階自然史展示室、「ふるさとの自然」のコーナーで紹介しています。



ゴイシツバメシジミの表と裏

博物館クイズ

みなさんは神楽を知っていますか？宮崎県内では地域ごとに神楽を奉納するため、たくさんの団体が存在しています。さてどのくらいの団体がいるでしょうか？

- ① 約20団体 ② 約50団体 ③ 約200団体



約200団体 ③ 正解は

